

令和3年10月26日

記者発表

収穫時期が早く食味の優れた甘柿新品种「紀州あかね」を開発しました

かき・もも研究所では、甘柿の主力品種「富有柿」より早い時期（10月中下旬）に収穫可能で着色・食味の優れた品種の開発を進めてきました。

このたび新たに、食味が優れ、果皮色の濃い「紀州あかね」を開発しました。

今後、「紀州てまり」とともに柿の県オリジナル品種として普及に取り組んでいきます。



○「紀州あかね」の特性

項目	特徴
果実の外観	果皮は紅橙色、果実重は 250～300g 程度
食味・特徴	糖度は 17%前後、シャキシャキとした食感で食味が良い 脱渋不要な完全甘柿
収穫時期・栽培特性	10月中下旬に収穫可能 （「富有柿」より3週間程度早く、「紀州てまり」と比較しても1週間程度早い） 生理落果が少ないため受粉作業が不要

○開発経過

交配「早秋」×「太秋」 → 特性調査・選抜 → 品種登録出願 → 品種登録（見込み）
平成 20 年 平成 23 年～令和 2 年 令和 3 年 令和 5 年

○今後の予定

苗木流通 令和 4 年冬以降（収穫開始は令和 7 年秋以降の見込み）

○関連する事業名

農林水産基礎研究「カキ・モモの新品種育成」（平成 28～令和 2 年度）

農林水産業競争力アップ技術開発事業「和歌山県柿オリジナル品種の開発」（平成 28～30 年度）

お問い合わせ先

研究推進室 塩路、増田 （電話 073-441-2995）

果樹試験場かき・もも研究所 古田 （電話 0736-73-2274）